

マテリアリティのKPIと実績

詳細な活動は、当社ウェブサイトのCSRページをご参照ください。
<https://www.tokuyama.co.jp/csr/>



○: 80%以上 △: 50%以上 ×: 50%未満

マテリアリティ SDGsとの関連	目指す姿	KPI / 目標	2022年度の実績	達成度	責任者* 推進部署
地球温暖化 防止への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 2050年度カーボンニュートラル 	<ul style="list-style-type: none"> トクヤマグループGHG排出量削減: 2030年度△30% (2019年度比) 気候関連情報の積極的な開示 	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルに向け地域・自治体・コンビニート内の連携を推進 バイオマス等代替燃料について検討 GHG排出量第三者認証取得 (Scope1, 2, 3) CDP気候変動質問書回答 (評価: B) GHG排出量の算定方法をGHGプロトコルに沿うよう変更 投資案件審査にインターナルカーボンプライシングを導入 	○	取締役 (社長執行役員) カーボンニュートラル戦略本部 RC推進グループ 工場企画運営グループ
環境保全 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクルの推進と廃棄物ゼロエミッション率の維持継続 環境負荷物質の低排出状態の維持 法的要求事項等の遵守と環境事故ゼロの継続 生物多様性保全への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減: <ul style="list-style-type: none"> 廃棄物有効利用率≥94% 廃棄物ゼロエミッション率≥99.9% 環境負荷物質の低排出状態の維持 法的要求事項等の遵守と環境事故: 発生件数 ゼロ 生物多様性保全への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物有効利用率: 94.7% 廃棄物ゼロエミッション率: 99.9% 環境負荷物質の低排出状態の維持: 各部署で取り組み中 法的要求事項等の遵守と環境事故: 発生件数0件 森林ボランティア、グリーンアップ活動ほか 特定外来種への対応 	○	取締役 (環境対策委員会 委員長) RC推進グループ
無事故・無災害 	<ul style="list-style-type: none"> 無事故・無災害 保安管理レベルの向上 安全文化の醸成・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 事故ゼロ・休業災害ゼロ: 発生件数 ゼロ リスクアセスメントの深化 スマート保安の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 重大な事故・災害の発生: 0件 事故発生: 2件 労働災害 従業員 不休: 4件 協力会 休業: 2件、不休: 2件 リスクアセスメントによる各種リスクの特定と低減対策の実施 スマート保安の推進: 異常予兆の検知の保全業務への活用検討 	△	取締役 (保安対策委員会 委員長) RC推進グループ
社会課題解決型 製品・技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> SDGs を意識した社会課題解決型製品・技術開発の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを意識した社会課題解決型製品・技術開発の推進 [電子] 製品群拡充と周辺材料での新規事業創出 [健康] 製品群拡充とグローバル化のための新技術創出 [環境] CO₂削減につながる新技術創出 	<ul style="list-style-type: none"> [電子] 顧客起点のマーケティング活動により製品化に向けた取り組みが加速 [健康] 複数テーマでの製品化推進と次期テーマの企画強化 [環境] 中期経営計画2025の戦略に基づき推進、複数テーマで事業化進行 	△	取締役 (研究開発担当) 研究開発本部
化学品管理・ 製品安全の強化 	<ul style="list-style-type: none"> トクヤマグループの適正な化学品管理の維持、製品安全の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 各国の化学品法令遵守: 化学品規制違反ゼロ、製品安全に起因した事故ゼロ グループを含めた化学製品のリスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 製品審査 (2次・3次): 計63件、表示審査: 計706件 国内外規制動向を把握して対応実施 <ul style="list-style-type: none"> 国内 (化審法、安衛法、化管法) 海外 (EU 持続可能な化学物質戦略、ナノ規制、中国 長江保護法など) 表示・SDS関連 (JIS、海外) 化学品管理に関わる各部門・グループ会社に教育を行い、管理状況について定期点検・ヒアリングを実施 製品含有化学物質管理の推進 	○	取締役 (製品安全・品質委員会 委員長) RC推進グループ
地域社会との共存、 連携、貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との共存・連携: 事業を通じた分散型社会への貢献 地域社会への貢献: 人が育ち活躍できる場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との共存・連携: <ul style="list-style-type: none"> 地域との対話 地域 (住民、行政、団体) 諸行事への積極的参加・協力 地域の課題解決と地域の持続的発展への貢献: <ul style="list-style-type: none"> 地域からの雇用 社会貢献活動 事業を通じた地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との対話 <ul style="list-style-type: none"> 地域対話 (オンラインの併用などのコロナ対策の上、実施) 工場見学 (地域コミュニティ、地元小学生など) 徳山夏まつり、周南冬のツリーまつり協賛 社会貢献活動 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動 (清掃活動、化楽クラブなど) 近隣学校への教育支援 (御影文庫、中学生の職場体験など) 事業による貢献 <ul style="list-style-type: none"> 周南市への電力特定供給 (周南市役所・徳山駅ビルなど) 	○	取締役 (CSRおよび総務人事担当) 総務グループ 環境安全部 工場企画運営グループ
CSR調達の推進 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインに基づくサプライチェーンの管理 	<ul style="list-style-type: none"> CSR調達ガイドラインに基づくサプライチェーンの調査・管理の推進: <ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートの精緻化によるサプライヤーのより詳細な調査 サプライヤーの実地監査ができる体制の構築 ロジスティックスにおける環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> 「CSR調達ガイドライン」の改正実施 (2022年12月) 新しい「CSR調達ガイドライン」の周知。 取引額3,000万円以上の会社に承諾書を要請296社中215社 回収済) GCNJが公開しているSAQを用いて、取引額1億円以上の会社に対しサプライヤー評価を開始。181社中133社より回収 	○	取締役 (サステナビリティ委員会 委員長) 購買グループ 物流グループ
人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> 企業競争力の源泉となる人材の育成・強化 次世代を担う人材の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 次世代経営人材の育成 事業遂行を支える高度技術者の育成 キャリアプラン・ジョブスキルに基づく適材配置・ローテーション活性化 目標設定とフィードバックの連環による人材育成の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ニュービジネスリーダー研修を実施 (20名/累積37名) DX教育計画の立案 グローバル人材育成関連研修: 33名受講 新規自己啓発プログラムを開始 「目指す人材像」と「スキル」を計13系統の職群ごとに定義し、全社公開済 (2022年4月) 戦略的ローテーションの仕組みづくり/HRビジネスパートナーの設置/人材マネジメントシステムによる人材情報の整理 考課者研修を計4回 (75名) 実施。適切な目標設定と評価についての理解を深めた。 	○	取締役 (総務人事担当) 人事グループ



*責任者: 管掌する委員会・会議体の委員長で取締役を務めている者

マテリアリティのKPIと実績

詳細な活動は、当社ウェブサイトのCSRページをご参照ください。
<https://www.tokuyama.co.jp/csr/>



○: 80%以上 △: 50%以上 ×: 50%未満

マテリアリティ SDGsとの関連	目指す姿	KPI / 目標	2022年度の実績	達成度	責任者* 推進部署
<p>多様性(ダイバーシティ)と働きがいの重視</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人材の受容・活用 人権の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョンの推進 <ul style="list-style-type: none"> 女性活躍推進 新卒採用: 20%、管理職: ≥5%、主任: ≥10% ほか 障がい者雇用の推進 雇用率: 2.3% ワークライフバランスの推進: 年休取得率 ≥75% 男性育児休業取得: ≥10名または ≥75% 女性育児休業取得率: ≥75% 	<ul style="list-style-type: none"> ダイバーシティ&インクルージョンの推進 <ul style="list-style-type: none"> 多様なスキル・価値観を取り入れるキャリア採用を継続(2022年度 38名) 2022年度女性管理職: 5名を登用し、比率は2.7%(単体)となった(2022年度から目標を2.0%→2.5%、2023年度から5%に引き上げ)。連結の女性管理職比率: 4.7% 障がい者雇用率: 施策を進め2021年度比雇用率は向上したものの2.02%にとどまった(2022年度3名新規雇用)。 障がい者の雇用創出を目的とした農業法人を2021年12月に設立し、2023年7月の生産開始に向けて準備中。 男性の育児休業取得者 実績22名(平均32日間) 人権の尊重 <ul style="list-style-type: none"> 人権方針を制定・公開(2022年12月) 	○	取締役(総務人事担当) 人事グループ
<p>心と体の健康推進</p> 	<p>従業員とその家族の心と体の健康づくりと働きやすい職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 心と体の健康づくりの推進 生活習慣病対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 個人の健康意識の向上 喫煙率: <15% 有所見率の維持・低減 <ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断受診率: 100% 再検査受診率: ≥90% 特定保健指導実施率: ≥80% 休業率の低減: <0.5% ストレスチェック受検率 ≥95% <p style="text-align: center;">すべて単体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙対策推進 <ul style="list-style-type: none"> 喫煙率: 18.9%(2021年度)→17.6%(2022年度)(2022年度目標18%未満達成) 敷地内屋内禁煙達成、禁煙キャンペーン 健康指導・健康診断事後処置 <ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断受診率: 100%(2021年度)→100%(2022年度) 再検査受診率: 81.0%(2021年度)→89.2%(2022年度) 特定保健指導実施率: 85.3%(2021年度)→84.5%(2022年度) メンタルヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> 休業率: 0.66%(2021年度)→0.75%(2022年度) ストレスチェック受検率: 98.1%(2021年度)→97.5%(2022年度) メンタルヘルス研修、eラーニング(管理職、一般社員) 2023年度 健康経営銘柄選定、健康優良法人ホワイト500認定 <p style="text-align: center;">すべて単体</p>	○	取締役(総務人事担当) 健康管理センター

*責任者: 管掌する委員会・会議体の委員長で取締役を務めている者